

(案)

鉄道事業再構築実施計画

鉄道事業再構築実施計画

1. 鉄道事業再構築事業を実施する路線及びその区間

四日市あすなろう鉄道株式会社 内部線（あすなろう四日市～内部間：5.7 km）

八王子線（日永～西日野間：1.3 km）

輸送密度（全線）：3,692人（令和5年度）

2. 地方公共団体その他の者による支援の内容

(1) 四日市市による鉄道施設・車両の取得、保有等、鉄道用地の借受

支援策	内容
鉄道施設・車両の取得、保有等、鉄道用地の借受	四日市市が近畿日本鉄道(株)から鉄道用地を借り受け、鉄道施設・車両を取得、保有し、第三種鉄道事業者として第二種鉄道事業者となる四日市あすなろう鉄道(株)に無償で使用する。
	四日市市は四日市市内部・八王子線鉄道施設条例（平成25年12月27日公布）及び内部・八王子線存続のための事業形態変更に関する確認書（平成25年12月26日交換）に基づき、四日市あすなろう鉄道(株)に鉄道施設、車両及び鉄道用地を無償で使用する。

(2) 四日市市による設備更新、維持修繕等に要する費用の負担

支援策	内容
設備更新費の負担	四日市市が第三種鉄道事業者として、計画的に鉄道施設・車両の設備更新を実施する。
維持修繕費等の負担	①四日市市が第三種鉄道事業者として、線路、電路等の維持修繕を四日市あすなろう鉄道(株)に委託して実施する。 ②四日市市が第三種鉄道事業者として、レールや枕木等の大規模な修繕を計画的に実施する。 ③四日市市が車両所有者として、車両の維持修繕を四日市あすなろう鉄道(株)に委託して実施する。

(3) 四日市市による利用促進・増収策の推進

支援策	内容
まちづくり施策、沿線地域と連携した利用促進・増収策の実施	①駅前広場の整備による利用増進策の実施 内部・八王子線の分岐駅となる日永駅において駅前広場の整備を行い、キス&ライドの実施体制を構築する。 ②沿線地域等と連携した利用促進・増収策の実施 沿線の地元団体等による駅の美化活動、あすなろう鉄道を活用したまちづくり事業、イベント列車や鉄道グッズの販売等の実施により利用促進・増収策を実施する。

3. 旅客鉄道事業の事業構造の変更の内容

引き続き、近畿日本鉄道（株）が四日市市に鉄道用地を無償で貸与し、四日市市が第三種鉄道事業者として鉄道施設や鉄道用地の保有等を行い、四日市あすなろう鉄道（株）が第二種鉄道事業者として四日市市から鉄道施設、車両及び鉄道用地を無償で借り受けて運行を行う**公有民営方式による事業構造とする。**

四日市あすなろう鉄道(株)が**事業運営により**利益が発生した場合は、その相当額を四日市市内部・八王子線基金に拠出し、損失が発生した場合は第三種鉄道事業者である四日市市は基金等を活用してその相当額を支援する事業構造とする。

4. 鉄道事業再構築事業の実施予定期間

- ・事業開始予定年月日：令和 7年 4月 1日
- ・事業終了予定年月日：令和16年 3月31日

5. 鉄道事業再構築事業の実施に必要な資金の額及びその調達方法

項目	事業費 (百万円)	負担額 (百万円)	調達主体	調達方法		実施 年度	利用者の 利便の確 保に關す る事項と の関連性
				適用助成制度	起債の有無		
■維持修繕等にかかる経費							
鉄道施設修繕費	2,651	2,239	四日市市	鉄道軌道安全 輸送設備等整 備事業	無	R7~16	(3) ①②③
計	2,651	2,239					
■設備投資費							
信号保安	遮断機 繼電器 など	341	171	四日市市	鉄道軌道安全 輸送設備等整 備事業、 社会資本整備 総合交付金、 地域における 受入環境整備 促進事業	R7~16	(2)④ (3)①
電路	電柱 電車線 など	109	55				(3)①
停車場	ホーム改良 など	130	65				(3)①
線路	まくらぎ改良 など	370	185				(3)①
改札設備	ICカードシステム整 備 など	33	17				(1) (3)①
その他	トイレ洋式化 など	25	17				
その他	電路 車両 など	135	135	四日市市	地方単独	無	R7~16 (3)①
計	1,143	645					
■利用促進施策経費							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 四日市あすなろう鉄道を活用したまちづくり事業 ・ イベント列車の企画・運行 ・ 遠足や社会見学等における利用促進活動の実施 ・ 鉄道イベント等によるPR活動の実施 ・ 鉄道の乗り方講習の実施 		37	37	四日市市	地方単独	無	R7~16 (3)④

※事業費と負担額の差額は国及び県の補助金及び四日市市の一般財源等を予定。

6. 利用者の利便の確保に関する事項

四日市あすなろう鉄道は市南部地域と中心市街地を結ぶ重要な路線であり、沿線には高校などが多く医療機関も立地しており、通学や通院など、日常生活に必要不可欠な交通手段である。

新型コロナウイルス感染症の影響により、減少していた利用者は回復したものの、今後、人口減少や高齢化が進み、交通弱者の移動手段の確保が課題であり、より快適で便利に利用できるよう整備を進めるとともに、他の公共交通や地域などと連携し、以下の施策を実施する。

(1) 住民、来訪者の移動手段の確保

- ・四日市あすなろう鉄道やバス等公共交通機関の乗継の改善等に取り組むとともに、生活圏内の移動特性に応じた交通手段の確保や公共交通が整備されていない地域では、高齢者など交通弱者の移動手段の確保に取り組む。（四日市市・四日市あすなろう鉄道）

- ・関係者と連携し、鉄道・幹線バス・支線バス・コミュニティバス、タクシー、デマンドタクシーやP&Rを活用し、暮らしに必要な拠点施設へ快適で便利に行くことができる公共交通ネットワークを形成することにより、交通アクセスの充実を図るとともに、駅前広場の整備等により乗継利便性の向上に努める。（四日市市・四日市あすなろう鉄道）

- ・駅舎のトイレ等のバリアフリー化など利用環境の改善に努め、高齢者や障害者等も安心して便利に暮らせるよう取り組む。（四日市市）

- ・通学定期乗車券の利用促進のため、通常定期券に比べお得な1箇年通学定期乗車券の販売することにより、学生の経済的負担を軽減することで、より多くの学生に鉄道を利用してもらおうよう取り組む。（四日市あすなろう鉄道）

また、1箇年通学定期乗車券は再発行が可能とし、紛失時の不便を軽減し、安心して利用できる環境の提供を行う。（四日市あすなろう鉄道）

(2) 地域社会全体の価値向上

① コンパクトなまちづくりの実現

- ・四日市市の交通拠点となる鉄道駅である近鉄四日市駅及びあすなろう四日市駅を起点とし、バスターミナル整備を含めた駅前広場の再整備や駅周辺の公共施設・都市施設の整備に取り組む。（四日市市）

- ・コミュニティターミナル（近郊・郊外部における商業施設や公共公益施設、駅など、地域のコミュニティの場となる拠点において、鉄道やバスなどの乗り継ぎ機能を併設した交流と交通の複合拠点）づくりを推進し基幹的な公共交通へ快適に乗り継ぎができるよう取り組む。（四日市市）

② まちのにぎわいの創出や健康増進

- ・中央通りの再編に伴う駅前広場や歩行空間の整備に合わせ、まちなかにおける移動手段の充実と既存公共交通との連携に向け、次世代モビリティ（自動運転技術、パーソナルモビリティなど）の導入にかかる実証実験に取り組み、郊外部から中心市街地へあすなろう鉄道を利用し、まちなかへの外出機会の増加を図ることにより、まちなかのにぎわい創出を目指す。（四日市市）

・沿線には豊かな緑や歴史ある史跡が点在している一方、中心市街地にも隣接しており、あすなろう鉄道を利用し、市内の散策や商業施設、サイクリングなど様々な用途で利用できるよう、引き続きサイクルトレインを運行し、健康増進を図る。（四日市あすなろう鉄道）

③ 観光振興施設との連携による交流の活性化

・公共交通の情報や中心市街地周辺の商業施設等のまちのおでかけ情報の検索・予約などができるM a a Sの構築を進め、公共交通の利用増加やまちなかの回遊性向上を図る。

（四日市市）

・全国でも珍しいナローゲージの鉄道として、市の観光資源である四日市あすなろう鉄道では、四日市ふるさと応援寄付金の返礼品として、駅長体験や貸切列車を継続して提供することにより、体験を通じて鉄道の魅力を広げ、利用者の増加を図り、地域の活性化に取り組む。（四日市市）

・交流人口の増加によりまちの活性化と持続的な発展に向け、鉄道イベントと、観光施策が連携することにより、鉄道だけでなく四日市市の魅力を広く市内外へ発信し、都市イメージ向上及び誘客の増加に向けた取組みの検討を行う。（四日市市）

・市内の文化財などの施設へあすなろう鉄道を利用し訪れた方に、乗車券等を提示することにより、インセンティブを付与する等、観光施設と連携した取組みの検討を行う。（四日市市）

④ 地球温暖化対策をはじめとする環境問題への対応

・シンポジウムや環境フェアなどの交通イベントや出前講座の実施などを通じて、市民の自動車への過度な依存を見直し、公共交通や自転車を活用したライフスタイルの変革に取り組む。自動車から公共交通へ転換する方法の一つとして、運転免許証を自主返納しやすい環境づくりに向け、運転免許を自主返納した市民に対して交通系ICカード5,000円分の交付を行う。また、イベントを通じてあすなろう鉄道の利用促進や交通手段の選択について市民が考える機会を増やすことで、輸送量当たりの二酸化炭素排出量が最も小さい鉄道への利用転換を図る。（四日市市・四日市あすなろう鉄道）

・鉄道施設のLED化の整備を行うことにより、二酸化炭素の排出量を削減し、脱炭素化の推進に取り組む。（四日市市）

(3) 安全・安心で質の高いサービスの提供等

① 安全・安心な運送サービスの提供

・鉄道施設の計画的な更新による安全性を確保するため、まくらぎや信号保安設備、道床、レール等の線路・電路等の更新と機能向上等により、乗車時の乗り心地などの快適性や列車運行の定時性・安定性及び速達性の向上を図る。（四日市市）

・木まくらぎを合成まくらぎ等に更新し、軌道強化を行うことで、事故の抑制を図り、定時性の確保に努める。（四日市市）

・誰もが利用しやすい公共交通を目指し、停車場設備の段差解消や、障害者割引をICカードに対応したシステムの整備を実施することにより、バリアフリー化を進め、誰もが利用しやすい公共交通を目指す。（四日市市）

② シームレスな運送サービスの提供

- ・公共交通の利用拡大に向けてキス&ライド施設として駅前広場（日永駅）の整備することにより、自家用車や自転車から公共交通機関への移行が円滑に行える環境整備に取り組む。（四日市市）

- ・近鉄やバス会社といった各交通事業者と連携し、運行ダイヤを見直すことにより、利用者が複数の交通手段をシームレスに利用できるよう検討を行う。（四日市あすなろう鉄道）

- ・各交通事業者間の共通ICカードの導入やバスロケーションシステムとの連携による円滑な乗り継ぎ環境の確保を図る。（四日市市）

③ 定時性の確保、速達性の向上

- ・利用者の動向に応じた列車運行ダイヤの見直しや他の公共交通とのスムーズな乗り継ぎの確保のため、ダイヤ編成を検討する。（四日市あすなろう鉄道）

- ・定期的な点検とメンテナンスを適切に行うことで、車両の故障を未然に防ぐことより、運行中のトラブルを減少させ、定時運行を確保に努める。（四日市あすなろう鉄道）

- ・鉄道の乗り方教室を開催し、利用者が正しい乗車方法を理解しスムーズな乗降を行うことにより、定時性の確保を図る。（四日市市）

④ 乗りたくなるサービスの提供

- ・全国でも珍しいナローゲージの鉄道として市の観光資源となっている四日市あすなろう鉄道を活用した企画の提案を募り、四日市市民主体によるまちづくり活動の推進及び公共交通の利用促進を図る。（四日市市）

- ・イルミネーション列車などのイベント列車の運行や鉄道沿線のウォーキングイベントの実施など鉄道・バスを利用した観光イベントを継続的に実施し、新たな交通需要を発掘する。（四日市市）

- ・あすなろう鉄道のオリジナルグッズを作成し、各地の鉄道イベントに出店し販売をすることで、鉄道収入の増加とともに、グッズを所有し使用してもらうことにより、鉄道ファン以外にも興味を持ってもらうことで、認知度向上に取り組む。（四日市あすなろう鉄道）

（4）新たな技術やサービスの活用による利便性向上の促進

① 新たな技術を活用した利用者の利便性向上

- ・鉄道駅へのシームレスな乗り継ぎ環境を目指し利用者の利便増進を図ため、交通空白地域でAI活用型乗合デマンド交通の実証実験に取り組む。実証実験を行う地域の乗降場の1つとして、あすなろう鉄道の駅を設定し新たな技術を活用した公共交通と連携することで、交通空白地域の暮らしに必要な移動手段の確保に努める。（四日市市）

② 新たなモビリティサービスを活用した利用者の利便性向上

- ・公共交通の利便増加や中心市街地の回遊性向上に向けて、交通結節点を中心とした公共交通と新たなモビリティとの連携や、商店街等と連携したまち歩きを促進するサービスを展開するMaaSの構築を進め、移動の利便性向上や公共交通利用者の増加を図る。（四日市市）

③ データの共有・利活用の促進

- ・幹線バスや支線バス等のバスロケーションシステムを活用した運行情報の発信や沿線の

公共交通のGTFISを活用した経路検索システムによる情報提供など、利用者の利便性を向上するサービスの強化に取り組むことで鉄道駅からの二次交通の利用促進を図る。（四日市市）

・四日市バスターミナル整備に伴い、バスターミナル主要出入口等に、デジタルサイネージによる総合案内板を設置することにより、運行情報をリアルタイムで提供し、利用者が円滑に移動できるよう検討を行う。（四日市市）

7. 鉄道事業再構築事業の効果

第三種鉄道事業者（四日市市）が鉄道施設などを所有し、第二種鉄道事業者（四日市あすなろう鉄道）に無償で使用させ、引き続き公有民営方式による事業構造とし、鉄道事業者の費用負担を軽減するとともに、利用者の利便を確保することで持続的運行を目標とした輸送の維持を図る。

(1) 利用者数

計画終了年度（令和16年度）には令和5年度実績（2,820千人）の利用者数を維持する。

(2) 第二種鉄道事業者の事業収支

令和7年度から第二種鉄道事業者の営業収支の均衡を実現する。

（令和6年度見込み 18,000千円）

8. その他鉄道事業再構築事業の実施のために必要な事項

(1) 四日市市地域公共交通計画の記載内容

公有民営方式での四日市あすなろう鉄道の運行継続及び利便性の向上	
項目	概要
目的	「公有民営方式」に転換した四日市あすなろう鉄道の運行を継続及び利便性の向上
実施概要	・四日市市が鉄道施設などを保有し、列車の運行を四日市あすなろう鉄道株式会社が実施 ・「鉄道事業再構築実施計画」に定めた事業の実施
実施主体	四日市あすなろう鉄道、市

四日市あすなろう鉄道における遠足や社会見学などでの利用促進	
項目	概要
目的	沿線小学校、中学校、高校などの遠足、社会見学などにおける四日市あすなろう鉄道の利用を促進することで、こどもの頃から四日市あすなろう鉄道に慣れ親しみ、愛着を醸成することで、利用促進につなげる。
実施概要	・沿線の学校に利用をPR
実施主体	市民、市